

ロボ歩行子ども挑戦

九工大プログラム教室



ロボットの動きを見守る参加者

コンピューターに指示を与えるプログラミングの教室が16日、飯塚市川津の九州工業大飯塚キャンパスで開かれた。子どもに科学への興味を持ってもらうようと、同大が2013年から取り組んでいる「わくわく科学教室」の一環。小学5

年から中学3年の12人が学生らに教わりながら、プログラムに沿ってロボットを歩かせた。参加者は、同大技術部の荒川等技術専門職員や学生らの指導を受け、子ども向けプログラミング言語を使い、ロボットが足を上げた

り体を傾けたりする角度などをパソコンに入力。入力された指示は、同大が飯塚市の助成を受けて製作した高さ約12センチの二足歩行ロボットに無線で伝えられた。飯塚市立伊岐須小6年の稲富結月さん(11)は「ロボットの動きをもっと良くするために、プログラムを調整したい」と話していた。